

未来のために備えよう 気候変動への適応

～ 岩手県の適応策 ～

● 岩手県でも既に
● 気候変動の影響が…

出ています!



気候変動とは、以前より気温が上がったり、雨の降り方が変わったりすることなどを言い、二酸化炭素等の温室効果ガス^{※1}の増加による「地球温暖化」が主な原因であると考えられています。

気候変動により、大雨の頻度の増加、農作物の品質低下、動植物の分布域の変化などの影響が表れてきており、今後さらに拡大するおそれがあります。



夏の高温によるリンゴの日焼け果
出典:岩手県

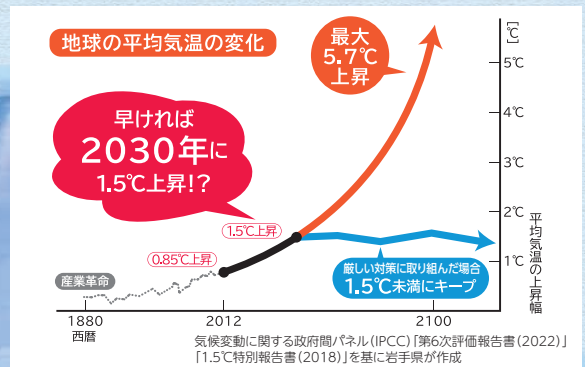
※1 温室効果ガスには、二酸化炭素のほか、メタン、一酸化二窒素、フロンガスなどがあります。

● 気候変動の影響は…

避けられません!



今より厳しい温室効果ガスの排出抑制に取り組んだとしても、今よりも気温が上昇することが予想されており、**気候変動の影響は避けられません。**



だから必要!

気候変動への適応

気候変動への適応とは、「気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減すること」
温室効果ガスの排出を抑制する「緩和」とあわせて、避けられない気候変動の影響による被害を回避・低減させる「適応策」が必要となってきました。

温室効果ガスの増加

化石燃料の使用による
二酸化炭素の排出等

緩和

温室効果ガスの
排出を抑制する

気候の変動

気温上昇、
降雨パターンの変化、
海面水位の上昇など

適応

気候変動の影響
に対処し、被害
を少なくする

気候変動の影響

生活、社会、経済、
自然環境への影響

「緩和」と「適応」
は車の両輪!



出典:環境省資料を基に作成

岩手県で予測される影響と適応策

2018（平成30）年、地球温暖化による農作物への影響や災害、異常気象による被害などを抑えることを目的とした「気候変動適応法」が施行され、「都道府県等は、その区域の状況に応じた気候変動適応に関する計画（地域気候変動適応計画）を策定するよう努めること」とされました。

岩手県でも、第2次岩手県地球温暖化対策実行計画を地域気候変動適応計画として位置づけ、気候変動適応に取り組んでいます。

岩手県の適応策（一部抜粋）

将来予測される主な影響	県の施策における適応策
農業・林業・水産業	
<ul style="list-style-type: none"> • 水稻の登熟期間の気温が上昇することによる品質の低下 • 果樹の高温による生育不良、栽培適地の変化等による品質低下などが懸念 • 乳牛の乳量減少、肉牛等の増体の遅れ、牧草の収量の減少や栽培適地の移動等が懸念 • サケ、サンマ、スルメイカ等の分布回遊範囲及び体サイズ変化の影響 	<ul style="list-style-type: none"> • 環境の変化に対応した新たな水稻品種の開発 • 果実品質の変動要因の解明 • 環境の変化に対応した新品目の導入 • 暑熱対策技術等の生産性向上に向けた技術指導 • 回遊魚等の資源管理に向けた資源調査の継続実施 
自然災害・沿岸域	
<ul style="list-style-type: none"> • 洪水を起こしうる大雨事象が今世紀末には現在に比べ増加 • 河川水位が上昇する頻度の増加や海面水位の上昇によって、下水道等から雨水を排水できなくなることによる内水氾濫の可能性が増え浸水時間の長期化を招くと想定 • 河川への土砂供給量増大による治水・利水機能の低下 	<ul style="list-style-type: none"> • 気候変動による降雨量の増加等を考慮した治水計画の検討 • 水位周知河川以外の中小河川における想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成 • 防災知識の普及や防災教育の促進 • 交通網やライフライン等を保全する土砂災害対策の推進 
健 康	
<ul style="list-style-type: none"> • 熱中症搬送者数の増加 • 蚊やダニ等の節足動物の分布可能域の変化、節足動物媒介感染症のリスクの増加 	<ul style="list-style-type: none"> • 熱中症予防の普及啓発と注意喚起 • 蚊媒介感染症予防の普及啓発と注意喚起 

岩手県の適応策は、上記以外に「水環境・水資源」「自然生態系」「産業・経済活動」「県民生活等」の項目があります。詳しくは、岩手県HPをご覧ください。

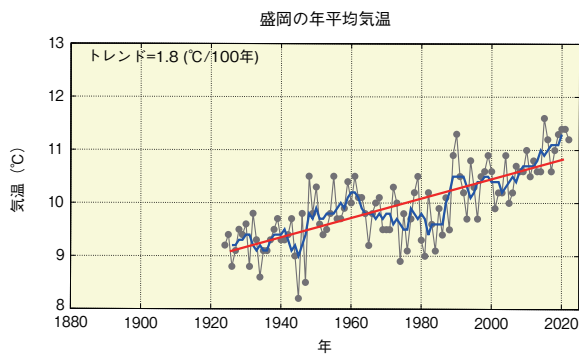
気候変動の現状と将来予測

※1 ここでは、盛岡地方気象台・仙台管区気象台「岩手県の気候変動」にある、4℃上昇シナリオ（気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書で用いられたRCP8.5シナリオに基づいた将来予測の結果。追加的な緩和策を取らなかった世界であり得る気候の状態に相当するもの）を示しています。

現状

気温

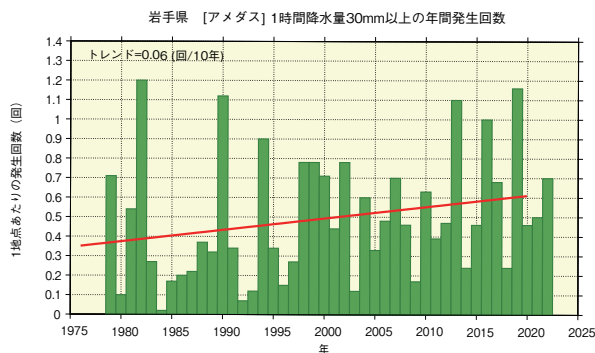
岩手県(盛岡)では100年あたり1.8℃上昇



出典：盛岡地方気象台

降雨

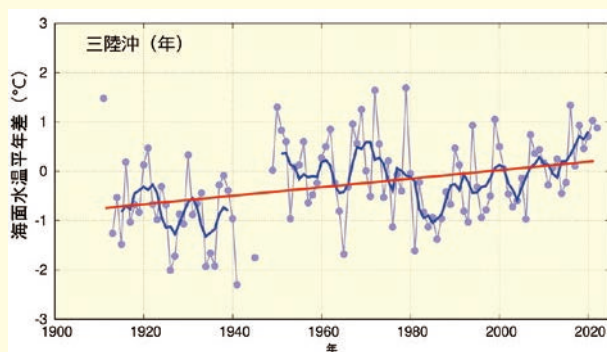
短時間に降る強い雨の回数が増え、
雨の降り方が極端に



出典：盛岡地方気象台

海の水温

三陸沖の海面水温は
100年あたり0.8℃の割合で上昇

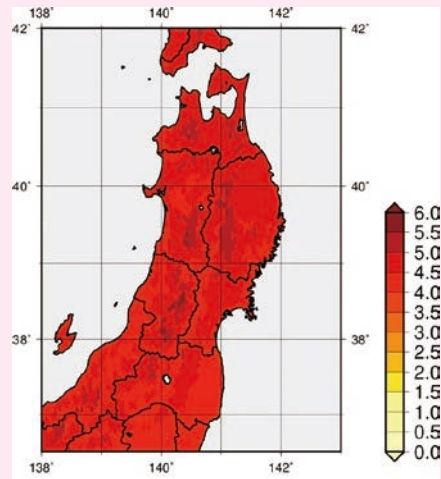


出典：盛岡地方気象台

21世紀末※1には

岩手県(盛岡)の年平均気温は、4.6℃上昇

岩手県での真夏日は約40日増加、熱帯夜は24日増加



出典：盛岡地方気象台・仙台管区気象台「岩手県の気候変動」

バケツをひっくり返したような雨※2の降る
頻度が東北地方で2.5倍に増加
雨の降る日数は全国で約8日減少

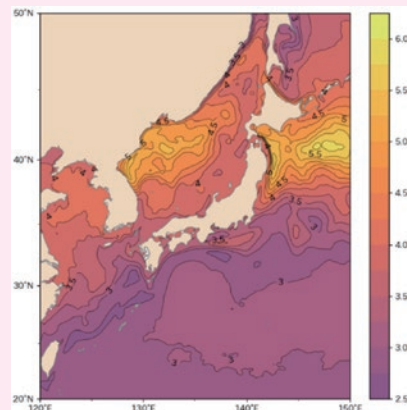


※2 バケツをひっくり返したような雨：1時間の降水量30mm以上

出典：盛岡地方気象台・仙台管区気象台「岩手県の気候変動」
イラスト出典：気候変動適応情報プラットフォーム

三陸沖の海面水温は約4.9℃上昇

出典：盛岡地方気象台・仙台管区気象台「岩手県の気候変動」



出典：盛岡地方気象台・仙台管区気象台

(参照元) Nishikawa et al. 2021, Development of high-resolution future ocean regional projection datasets for coastal applications in Japan. Progress in Earth and Planetary Science, 8:7, <https://doi.org/10.1186/s40645-020-00399-z>

未来のために、適応しよう!

個人ができる適応策

<健康>

- 熱中症予防のためのこまめな水分補給、日差し対策、適切な冷房の活用



<防災>

- 県や市町村が出している防災情報(ハザードマップや避難経路)の確認
- 緊急時に備えた備蓄
- 気象情報や防災情報を積極的に集め、早めの避難



みんなで知ろう!

気候変動適応情報プラットフォームには、左記のほかにも、個人でできる取組が紹介されています。小学4年生以上の子供向けサイト(A-PLAT KIDS)もありますので、ご覧ください。

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/everyone/index.html>

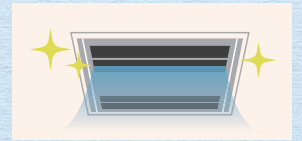
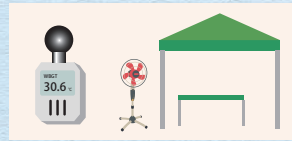


出典：気候変動適応情報プラットフォーム
https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/infographic/img/6_05.pdf
https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/infographic/img/6_07.pdf
を岩手県が加工して作成

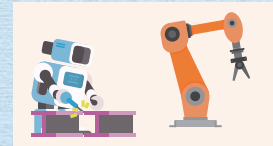
事業所ができる適応策

<気温上昇による健康リスクの増加>

- 作業場所の暑熱対策
- 高効率空調の導入促進

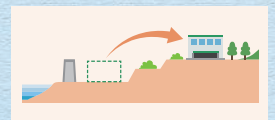


- ロボットやICTの活用

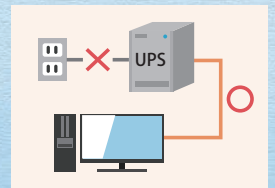


<大雨などの災害リスクの増加>

- BCP(事業継続計画)の作成
- 施設の最適配置地盤の高上げ



- 電力等ライフラインの停止に対する備え



さらに詳しく!

民間企業の気候変動適応ガイド

—気候リスクに備え、勝ち残るために—(発行：環境省)

気候変動の事業活動への影響と適応取組の基本的な進め方、民間企業が適応に取り組むメリットなどが紹介されています。

https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/guide/



気候変動の影響や適応に関する情報は気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)をご参照ください。



岩手県の気候変動対策(緩和策、適応策)についてはいわてわんこ節電所をご覧ください。



岩手県環境生活部環境生活企画室

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

TEL 019-629-5271 FAX 019-629-5334

メールアドレス AC0001@pref.iwate.jp

令和5年3月発行